

eitoeiko より青秀祐展のお知らせです

青秀祐

弾頭の雨が降る夜に、少年は空飛ぶ夢を見る。

2018年6月9日～6月30日

皆様お世話になっております。eitoeiko では6月9日より6月30日まで、青秀祐による7年ぶり3度目の個展「弾頭の雨が降る夜に、少年は空飛ぶ夢を見る。」を開催いたします。

数千機による折り紙飛行機が編隊飛行するインスタレーションや、機体構造を裏返しした立体作品など、航空機、とりわけ戦闘機をモチーフにした作品を制作する青秀祐（あお・しゅうすけ）。近年は母校である多摩美術大学で日本画専攻の非常勤講師を務める傍ら、美術館を舞台に巨大な作品を発表してきました。「破滅は空からやってくる」

映画監督の押井守が対談や著書のなかで繰り返す言葉に青は留意します。それは押井作品の随所に現れます。一方で青は「航空機が戦争に登場して以来、主戦場は私たちの頭上を覆うこの空がメインとなった。ミサイルや爆弾は空から飛来する脅威であり、幾多の平穏と安眠を打ち砕いてきた」と現代史を捉えます。戦闘機から、娯楽と凶暴性の両方をアートの視点から紡ぎ出したのが、青作品の構造となっています。本展では空対艦ミサイルをモチーフに衣料用生地で実寸大に縫製した最新作「AGM-84 Harpoon」や、作家のセルフポートレートともいえる「Phantom」など立体作品を中心に展示いたします。この機会にぜひご高覧ください。以下は、作家より本展に寄せたメッセージです。

私の帰属する国家は軍隊を持たず、世界中で唯一実戦において核攻撃を受けた。相手国に70年以上国土の一部を占領され続け、いまではその国を一番の友好国と認定している。その傍らで、学生服を着た少女が様々な国の戦車を駆って技を競い合うアニメーション映画が空前のロングランを記録する国である。

「軍隊じゃないけど軍隊みたいな」組織で戦闘機パイロットだった父の、武器に対する偏愛を受け継いだため、私の価値基準には戦闘機が大きく関わっている。父が乗っていた機体は「F4-EJ ファントムII」であった。私の中で戦闘機といえばまずこの機種、とりわけ414番機を指す。いまではすっかりロートルとなってしまったファントムがまだアバンギャルドな存在だった頃、その兄弟はベストセラー機となり、世界各国で爆弾の雨を降らせ、一方で父に操縦席を与えた。この戦闘機は私にとって「ちょっと前」の時代の象徴だ。そこから現在をつなぐタイムラインに、私、父、テレビで見た空爆やアニメや映画、そして私を現代美術の空域にいざなった原口典之の「ファントム」が登場する。

戦闘機というモチーフを通じて私は現在を観測する。平和と隣り合わせの暴力性、日常と非日常、古さと新しさ、大人と少年性など、既存の文脈から普遍性を取り出し、変成し、更新している。

兵器という存在は、徹底的にシリアスだ。役目通りの力を有し、確実にこの世に存在している。それらが持つさまざまな暴力を、私自身が身をもって体感したことはない。時折様々な媒体を通じて荒ぶる力を見せつけられ、爪を立てられたような気分になっているだけだ。

しかし、その佇まいは私の心を驚掴みにして離さない。

強いものへの畏怖がそうさせるのか、単に出自による刷り込みか。答えはひとつではなさそうだ。そしてそれは私に限らない。世界を見渡しても、数多の人間が同じようにその危うい魅力の虜になっている。むしろそういった人達や、そういった人達が偏愛の果てに生み出したものに囲まれる中で、私もそこに仲間入りしたといった方が正確だろう。カッコいい、とひとことで言ってしまうればそれまでの話だが、美術家としてはそこに発生する力学を解明する必要がある。

2018年4月 青秀祐

作家略歴

1981 茨城県生まれ

2004 多摩美術大学美術学部日本画専攻卒業

2015-18 多摩美術大学美術学部日本画専攻非常勤講師

展覧会歴

2010 PAX-4 eitoeiko

2011 TRIAL 航空科学博物館／Gateway Japan トーランス市美術館

2012 Art & Air 青森県立美術館／10年代の終戦 eitoeiko

2013 イマゴ・ムンディ ルチアーノ・ベネトンコレクション ヴェネツィア

2014 プレイヤーズ 遊びからはじまるアート アーツ前橋／Art & Air フェルケール博物館

2016 Art & Air 苫小牧市美術博物館

2017 ラブラブショー 2 青森県立美術館

本展情報

展覧会タイトル：弾頭の雨が降る夜に、少年は空飛ぶ夢を見る。

作家名：青秀祐

会期：2018年6月9日（土）～6月30日（土）

オープニングパーティー：2018年6月9日（土）18時～20時

会期中の休廊日：日曜日、月曜日

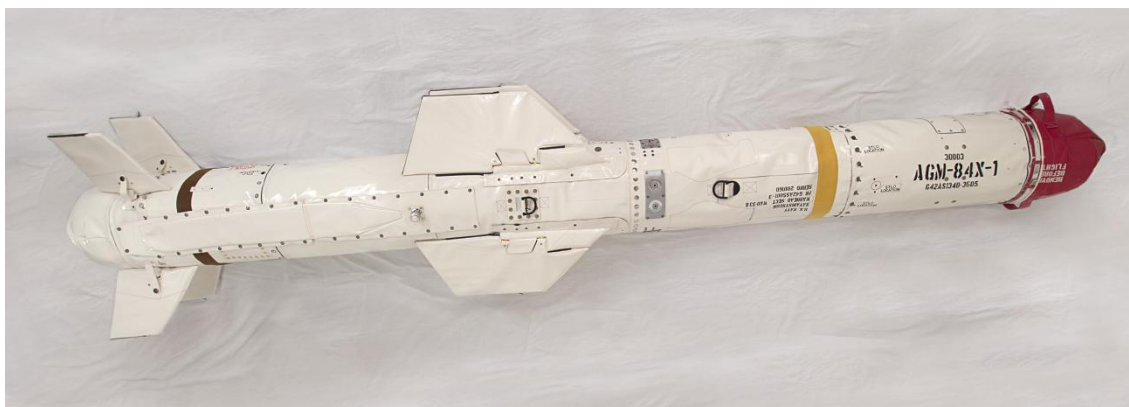
会場：eitoeiko（エイトエイコ）

住所：〒162-0805 東京都新宿区矢来町 32-2

電話：03-6873-3830

お問い合わせ：ei@eitoeiko.com 担当 癸生川（きぶかわ）

作品紹介

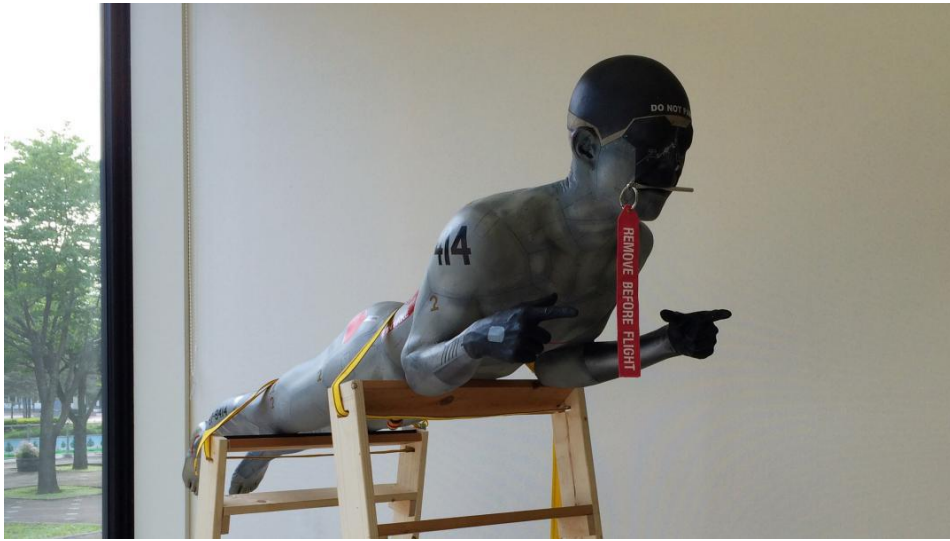


AGM-84 Harpoon

2018

合成皮革、金属部品（ボタン他）、布、綿、刺繍、他

L.408×直径 34.3（翼長 91.4）cm



Phantom

2016

FRP にラッカー塗装、他

L.176×W.63×H.59 cm



参考作品

Ghost Lightning

2017

布地にアクリル、泊、他

L.1567×W.1067×H.439 cm